

令和 5 年 4 月 11 日 メルボルン交流抄

「タスマニア・デビルが日本とオーストラリアを繋ぐ」

先日、一時帰国した際に、東京都多摩動物公園を訪れ、渡部浩文公園長にお会いしてきました。公園長自らの案内によりオーストラリアの動物がいるエリアを中心に観てきました。多摩動物公園は以前からオーストラリアのエリアがあり、コアラ、カンガルー、ワラビーなどの有袋類の飼育に力を入れておられます。その中でも特に珍しいのは、タスマニア・デビルという、フクロネコ科の肉食の有袋類です。低音で唸るようなその鳴き声からデビルと名付けられたと言われていますが、実際には見た目も可愛くて、元々大人しい動物だそうです。自分で獲物を狩することもできないそうです。

タスマニア・デビルは今はタスマニアにしか棲息しておらず、絶滅危惧の稀少動物として保護されています。近年特定の病気などにより、デビルの数が激減したのですが、現時点ではワクチンの開発や病気にかかっていない個体を飼育下で繁殖させることなどによりデビルの数は戻ってきているそうです。数年前からオーストラリア政府はこのデビルのことをもっと広く知ってもらうために、「アンバサダー」としてデビルを外国にも送るというプログラムを進めています。ただし、どこでも良いということではなく、デビルを飼育できるという認定を受けた飼育員のいる動物園でないといけないことになっています。多摩動物公園には現在 2 人の飼育員の方が認定されています。

多摩動物公園には元々デビルが 2 匹いたのですが、2 匹ともに相当歳をとり、今年 1 月にその内の一匹が亡くなりました。そこでオーストラリアから若いデビルを 2 匹送ってもらうという話が進められています。



今年3月中旬にタスマニア州のロックリフ首相は日タスマニア間の貿易・投資促進のために訪日されました。その際に、武井俊輔外務副大臣との会談で、ロックリフ州首相から、多摩動物公園にタスマニアデビルを移送する計画の紹介がなされ、両者は幅広い分野で日本とタスマニア州の関係を更に深化させることを確認しました。

また、別途、同首相は渡部公園長とも会い、デビルのぬいぐるみを本物に先駆けて渡されました。渡部公園長からも、飼育員監修の多摩動物公園オリジナルのデビルのぬいぐるみをお返しに渡されました。

早くデビルが日本に来ることを期待しています。当館としても、出来る限りの協力・支援をしたいと思います。

